

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ E組

教科担当者：（A組：久保田）（B組：大倉）（C組：大倉）（D組：大倉）（E組：久保田）

使用教科書：（第一学習社『精選 言語文化』）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	古文入門 「兄のそら寝」（宇治拾遺物語） 【知識及び技能】 言葉の単位、歴史的仮名遣い、古語辞典の引き方 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の関係性や身分を知り、それが兄の行動に影響していることに気づく。 省略されている助詞や主語を補いながら、文章を読み取る。 兄の刻々と変化する心情を読み取り、最後の僧たちの笑いが起こった理由について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 古文の文章に慣れるとともに、現代にも通じる人々の心情や人間描写の巧みに着目し、古典作品の世界に親しむ。	・現代文法と比較しながら、基本的な言葉の単位を確認させる。 ・歴史的仮名遣いの規則を理解させる。 ・古語辞典の引き方を知り、古今異義語に留意させながら、実際に引かせて習熟させる。 ・文中の兄の心中語を抜き出させ、心情の変化を読み取らせる。 ・兄の心情変化がどのような事情によるものか、身分や当時の食生活に照らし合わせて考えさせる。 ・教材：語句プリント、演習プリント、文法書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 古文における言葉の単位、歴史的仮名遣いの規則、古語辞典の引き方を理解している。 【思考・判断・表現】 助詞を手がかりにして心中語を探し、登場人物の言動とそれに対する反応を読み取れている。 兄の心情の変化の背景にある当時の身分制度を考え、僧たちが笑った理由を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 出典の成立年代、ジャンルを知ったうえで、異なる時代の文学と現代の共通点、相違点を考えながら、説話文学に関心を持っている。		○	○	○	4
	「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語） 【知識及び技能】 単語の分類、品詞、活用形の理解 【思考力、判断力、表現力等】 単語の分類基準に従ってそれぞれの品詞の違いを理解する。 活用形の種類と見分け方を知り、本文中の語の活用形を識別できる。 省略された主語を考えて補いながら、本文の内容を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 品詞の区別・活用について理解することによって、古文を文法的に分析して理解しようとする視点を	・単語の分類基準と品詞の関係を体系的に把握させる。 ・それぞれの活用形の性質を確認させ、文中での活用形の見分け方をドリルを通じて習得させる。 ・説話というジャンル独特の文体を踏まえて、内容や展開を的確に捉えさせる。 ・教材：語句プリント、演習プリント、文法書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 単語の分類、品詞、活用形の見分け方を理解している。 【思考・判断・表現】 古文の文章中の単語の品詞や活用形を習得した知識を活用し、見分けることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 品詞の区別・活用形の用法を理解し、古文を文法的に分析して理解しようとしている。		○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
	古典文法〈用言〉 【知識及び技能】 動詞、形容詞、形容動詞の活用と用法、活用の種類の理解 【思考力、判断力、表現力等】 規則に則って、用言を正しく活用させ、活用の種類を見分ける。 【学びに向かう力、人間性等】 動詞、形容詞、形容動詞の用法を知り、用言の体系を理解する。	・動詞・形容詞・形容動詞の活用と用法を理解し、反復練習によって使いこなせるようにさせる。 ・教材：演習プリント、文法書、ICT教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 用言の特徴を理解し、それぞれの活用のしかたや活用の種類について理解している。 【思考・判断・表現】 筋道を立てて考え、活用の種類を見分けることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 動詞、形容詞、形容動詞の用法を知り、用言の体系を理解しようとしている。		○	○	○	4
	随筆 「つれづれなるままに」 「出雲に丹波といふ所ありて」 〈徒然草〉 【知識及び技能】 用言の演習、係り結びの理解 【思考力、判断力、表現力等】 古典を代表する思索的な随筆に触れ、作品の背景にある筆者の批判的精神を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 現代にも通じる教訓的な内容を理解し、筆者の来歴や人物像を考え	・用言を総合的に用いることができようように演習させる。 ・係り結びの法則の基礎を理解し、文章の中に見だし、その効果について考える。 ・教材：語句プリント、演習プリント、文法書 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 用言を広く理解し、文章読解に役立てられているか。 【思考・判断・表現】 語句や文法に留意して筆者の主張を正確にとらえられているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品の他の章段も含めて、出版作品に関心をもち、その来歴・人物像を根拠をもとに考えようとしているか。		○	○	○	6
漢文入門 漢文の基礎・故事成語 【知識及び技能】 漢文訓読の基礎、返り点の読み方・使い方の理解 否定形・疑問形の句法の理解 【思考力、判断力、表現力等】	・訓読と返り点の基礎、漢文特有の文字の使い方を身に付けさせる。 ・訓読文を書き下し文に直す、また書き下し文を見て、白文に返り点を打てるように練習させる。 ・故事成語のなりたちを読み取ら	【知識・技能】 漢文訓読の方法と、返り点の使い方を理解しているか。 【思考・判断・表現】 有名な格言、故事成語の由来を正しく読み取れているか。 【主体的に学習に取り組む態度】		○	○	○	4	

